



令和4年 10 月 25 日
海 上 保 安 庁

第 18 回アジア海上保安機関長官級会合の参加について(結果概要)

10 月 14 日から 18 日までの間、2004 年より我が国主導により開催している「アジア海上保安機関長官級会合」の 18 回目となる会合がインドのホストによりニューデリーで開催され、海上保安庁からは白石昌己海上保安監が出席しました。

本会合では、「捜索救助」、「海洋環境保全」、「海上不法活動の予防・取締り」及び「人材育成」の 4 分野について、各国の取組や好事例を発表するとともに、今後の活動について議論がなされました。

1 日程概要

日時: 令和4年 10 月 14 日(金)から 18 日(火)まで
場所: インド・ニューデリー

2 参加国・機関

オーストラリア、バーレーン、バングラデシュ、カンボジア、フランス、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、トルコ、ベトナム、ReCAAP-ISC
(オブザーバー参加: UNODC)

3 主な会合成果

- ・情報共有ワーキンググループ暫定的設立に関する合意
- ・UNODC のアソシエイトメンバーとしての加盟を承認
- ・「捜索救助」、「海洋環境保全」、「海上不法活動の予防・取締り」及び「人材育成」の 4 分野について各国発表事項
- ・共同声明を採択(別添)



各国機関長官級集合写真



全体会合の様子



バイ会談の様子



会議の様子

共同声明
第18回アジア海上保安機関長官級会合(仮訳)
(2022年10月16日採択)

オーストラリア、バーレーン、バングラデシュ、カンボジア、フランス、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、トルコ、ベトナムの海上保安機関の長は、ReCAAP ISC のアソシエイトメンバー及び UNODC-GMCP のオブザーバーとしての参加を得るとともに、2022年10月16日にインドのニューデリーで実施された第18回アジア海上保安機関長官級会合(HACGAM)に参加できなかったブルネイ、中国、ラオス、モルディブ、パキスタン、スリランカ及び香港を含め、各海上保安機関の権限及び任意参加の原則を最大限尊重するとの枠組みにおいて、

22か国・1地域・1機関の会合メンバーが、地域の海上安全の確保と促進のため、連携を強化することを確認し、2014年に横浜で開催された第10回 HACGAM の共同声明に基づき、会合メンバーの連携を継続し、主体的に同会合の枠組みを活用することにより、安全で、美しい、アジアの海を未来に繋げていくことを合意したことを想起し、

HACGAM の基本思想であるペーパーワークからフィールドへという考え方にに基づき、より実務的な協力関係を強化していくことの重要性を認識し、

「搜索救助」、「海洋環境保全」、「海上不法行為の予防・取締り」及び「人材育成」に対応する4つのワーキンググループが、議長国及び議長国代理であるインド、フィリピン、日本及びトルコのイニシアチブの下、「安全で、美しい、アジアの海」を維持・確保するための取り組みを前進させていることを評価し、

オーストラリアを海上情報共有ワーキンググループのコンセプト・ノート及び付託事項作成の準備及び議長国承諾に感謝し、

UNODC-GMCP を HACGAM 新規アソシエイトメンバーとして歓迎するとともに、継続的な HACGAM 及び地域への支援に期待し、

ReCAAP-ISC の HACGAM メンバー及び法執行機関の活動により改善されているアジアにおける海賊及び武装強盗に関する近況の報告と、インドによる、海洋汚染の防止、保護、および取締りに関する相乗的な取組に向けた HACGAM メンバーに対するメッセージを盛り込んだインド沿岸警備隊の環境保護に対する取組についての包括的なプレゼンテーションを評価し、

トルコの2023年 HACGAM のホストへの寛大な申し出と全メンバーの招待に感謝し、

インド沿岸警備隊によるコロナ禍における HACGAM の対面開催にかかる多大なる努力と素晴らしい調整に感謝し、

我々は、国家間の海上保安に関する連携が、地域の海上安全の確保と促進に有効であると確認し、「安全で、美しい、アジアの海」を確かなものとするため、この連携を維持・発展させることに同意した。